



ロボットの動きを見つめる子どもたち

ロボットの動きに一喜一憂

ロボカップジュニア 2005 北近畿大会で熱戦

子どもたちが、組み立てたロボットを使ってサッカーをする「ロボカップジュニア 2005 北近畿大会」が3月6日、やぶ生涯学習センターで行われました。

同大会は、子どもたちに科学技術やものづくりへの関心を持ってもらおうと養父市などが主催したもので、市内外の小学生9チームが参加しました。

この大会は、ロボットに内蔵しているセンサーがボールの発する赤外線を感知して動き、数多くの得点を挙げたチームが勝ちとなります。参加した子どもたちは、自分たちが作ったロボットの動きに一喜一憂し、ロボットの動きを追っていました。



開通した建屋バイパス

「安全」「交流」の道が完成

建屋バイパス・林道岩崎線が開通

地域の長年の念願だった主要地方道養父朝来線「建屋バイパス」と林道岩崎線がそれぞれ開通しました。

八鹿町岩崎と旧出石町暮坂とを結ぶ林道岩崎線は3月24日に開通。市町境で行われた開通式には、地元住民ら約50人が出席し開通を祝いました。全長は約2200メートルで幅4メートル。総事業費は約3億8千万円（養父市分は約1億6千万円）です。

また、建屋バイパス開通記念式典は地元住民ら約60人が見守る中、同日に建屋バイパス特設会場で行われました。主要地方道養父朝来線は、養父市と旧朝来町を結ぶ上八代トンネル等の開通に伴い交通量が増大。幅員の狭い建屋地区の安全の確保と交通の円滑化を図るため平成13年度から事業着手されたものです。全長は約1800メートルで全幅9メートル。総事業費は約9億円です。

関係者らが完成祝う

熊次地区の公共下水道・簡易水道施設が完成

3月30日、特定環境保全公共下水道熊次浄化センター通水式と熊次簡易水道竣工式が丹戸多目的集会所で行われました。熊次浄化センター前で関係者らによって通水セレモニーが行われた後、梅谷馨市長が「この施設の完成が生活利便性の向上と環境保全に寄与することはもちろん、観光地の一層の発展に役立てなければならぬ」とあいさつ。式典に出席した約70人の関係者が施設の完成を祝いました。

特定環境保全公共下水道熊次処理区の計画処理水量は1日最大1380立方メートル。総事業費は約17億円です。熊次簡易水道の計画浄水量は1日779立方メートル（同最大能力1600立方メートル）。総事業費は約19億6千万円です。



施設完成を祝いくす玉を割る関係者ら